



クラウドファンディングって？

◆ネット使い資金調達／企業や自治体が活用

ブン子さんは北陸経済研究所（富山市）の楠智也主任研究員に聞きました。

Q－どんな意味かしら。

A－インターネットを利用して、不特定多数の人から出資を募る新しい方式のことです。英語で「クラウド (crowd)」は群衆、「ファンディング (funding)」は資金調達という意味で、二つを組み合わせた言葉です。お金を募る行為は昔からありますが、インターネットを使うことで参加が容易になりました。またSNSの普及によって出資を募るプロ



ジェクトの内容が、速く広く浸透できるようになりました。2013年に安倍晋三内閣の日本再興戦略に取り上げられ、政府や地方自治体、金融機関などの注目も高まりました。

Q－どんな利点があるの。

A－出資者にとっては、少額のお金でプロジェクトの実施者を応援できることです。また、プロジェクトによっては単なる寄付ではなく、成果として製品などの物が受け取れたり、金銭的な見返りが受けられたりするものもあります。一方、調達する側は資金を集める目的以外にも、知名度向上が図れるほか、自分のプロジェクトがどれだけ必要とされているかを出資金額を通じて知ることができます。

Q－どうやって集めるのかな。

A－クラウドファンディングのウェブサイトに登録するのが一般的です。世界的には米国のKickstarter(キックスターター)が有名です。日本でも多数のサイトが運営され、Ready for (レディーフォー) や Makuake (マクアケ)、FAAVO (ファーボ) などがよく知られています。

Q－富山での取り組みは。

A－若鶴酒造(砺波市三郎丸)のウイスキー蒸留所「三郎丸蒸留所」改修プロジェクトでは16年に463人から約3825万円が集まりました。また富山市ファミリーパークは17～18年にライチョウ保護増殖事業として1174人から約2626万円の資金を調達しました。県内の企業や自治体の活用が増えており、今後はさらに身近になるでしょう。